

令和4年度の学童野球新ルールの導入について

1. 導入の目的および適用範囲

学童部競技者の肘肩障害をはじめとする野球障害予防の一環として、2022年シーズンより、全国一律に全国大会・都道府県大会・市区町村大会の全てにおいて、本連盟学童部に加盟、登録するものに対し、下記ルールの導入を行う。

なお、医科学委員会では、スポーツ医学的観点から競技者を守るための有効なルールとして、全8ルールについて、検証を行い今回、下記2つのルールの導入提案を行うが、その他6つのルールについても引き続き検証を実施し、学童部競技者の野球障害予防と野球環境改善のための有効なルールとして導入検討を行う。また、障害予防は、ルール制定と併せて指導者養成も重要な対策と捉えており継続的な教育啓発を行うものとする。

2. 導入ルール

	導入ルール	取り扱い	目的
1)	6イニング制・時間制限（1時間30分）の採用	試合は、6回戦とし、尚且つ、1時間30分の時間制限を設定する。	投手ならびに捕手の投球数（返球数）の減少ならびに時間短縮による健康管理。
2)	ホームベースサイズの拡大	ホームベースは、一般用を使用する。	サイズ拡大による投手の負担軽減

3. 本ルール適用に係る関係規則、取り扱い改訂について

1) 6イニング制・時間制限（1時間30分）の採用

現行	改訂（案）	備考
◆少年部、学童部、女子大会（P38） §1 競技運営に関する注意事項 7（2）第2試合以降は前の試合の <u>4回</u> 終了時まで	7（2）第2試合以降は前の試合の <u>2回</u> 終了時まで	打順表交換対応

<p>§ 2 競技に関する連盟特別規則 (P42)</p> <p>1 正式試合</p> <p>(1) <u>7回戦</u></p> <p>①ゲームは<u>7回戦</u>であるが、暗黒、降雨などで<u>7回</u>までインングが進まなくとも5回を終了すればゲームは成立する。</p> <p>②健康維持を考慮し、5回終了以降、試合開始後2時間30分を～中略～、新しいインングに入らない。 「学童部4年生以下」5回戦</p>	<p>1 正式試合</p> <p>(1) <u>6回戦</u></p> <p>①ゲームは<u>6回戦</u>であるが、暗黒、降雨などで<u>6回</u>までインングが進まなくとも5回を終了すればゲームは成立する。</p> <p><u>②試合開始以降、1時間30分経過後の均等回完了をもってゲームは終了する。</u></p> <p><u>③ゲームは上記①・②で先に到達した方で試合を決する。</u></p> <p>学童部4年生以下の大会は5回戦とする。</p>	<p>7回戦 → 6回戦に訂正</p> <p>時間制限(1時間30分)の取り扱いを追記</p> <p>4年生以下5回戦は現行通り</p>
<p>2 延長戦</p> <p><u>7回</u>を完了し同点の場合、または5回終了時以降、試合開始後2時間30分を経過し同点の場合は、いずれも延長戦は行わず直ちにタイブレイク方式とする。</p>	<p>2 延長戦</p> <p><u>6回</u>を完了し同点の場合、または<u>試合開始後、1時間30分経過後の均等回完了時に</u>同点の場合は、タイブレイク方式で試合を決する。</p>	<p>7回 → 6回に訂正</p> <p>時間制限(1時間30分)の取り扱いを追記</p> <p><u>*6回戦と時間制限(1時間30分)は先に到達した方を採用する。</u></p>
<p>4 特別継続試合 (P43)</p> <p>(1) 暗黒、降雨などで5回以前に中止になった場合、または5回を過ぎ正式試合になって同点で試合が中止の場合は、翌日の第1試合に先立って特別継続試合を行う。</p>	<p>4 特別継続試合 (P43)</p> <p>(1) 暗黒、降雨などで5回以前に中止になった場合、または5回を過ぎ正式試合になって同点で試合が中止、<u>および試合開始後、1時間30分を経過し同点の場合</u>は、翌日の第1試合に先立って特別継続試合を行う。</p>	<p>時間制限(1時間30分)の取り扱いを追記</p>

<p>(2) 5回に満たない場合には、打ち切りとなったところから試合を行うが、5回に達した場合は、コールドゲームが適用される。</p>	<p>(2) 5回に満たない場合には、打ち切りとなったところから試合を行うが、5回に達した場合、および試合開始後、1時間30分を経過した場合は、コールドゲームが適用される。同点の場合は、タイブレーク方式で試合を決する。</p>	<p>時間制限（1時間30分）の取り扱いを追記</p>
<p>8 学童部・少年部の投球数制限について (P44)</p> <p>選手の肘、肩の障害予防として、一人の投手が1日に投球できる数は下記の取り扱いとする。この投球数制限は、選手が安全に安心して健康で野球を楽しむことを目的としている。</p> <p>【学童部】</p> <p>①70球以内（4年生以下60球以内）</p>		<p>現行通り</p> <p>*6回戦制および時間制限（1時間30分）の導入を行うが、投球数制限は、現行通りとする。</p>

10 試合時間の管理について (P45)

- (1) 試合時間は、大会本部が管理し、試合開始時間を通告すること。
- (2) 制限時間に達した時は、審判員はそのことを両チームに通告すること。

【ケース1】

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	計
A	2	3	2	2					9
B	3	2	1						6

[Aがリードの4回表に1時間30分が経過した場合]

※4回裏の攻撃まで行う。(正式試合の5回均等回完了以前に時間制限に到達したため。)

【ケース2】

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	計
A	0	0	2	0	1				3
B	0	0	2	2					4

[Bがリードの5回裏のBの攻撃中に**1時間30分**が経過した場合]

※1時間30分を経過した時点で試合終了となるが、そのときの打者の打撃中にその旨を両チームに通告し、この打者が打撃を完了して試合終了とする。

2) ホームベースサイズの拡大の採用

- ・野球競技場区画線（学童部） バッターズボックス、キャッチャースボックス区画線（P17）
本塁区画（ホームベースのサイズ）を一般用のものに変更する。